

## 公認水泳指導員

団体として付加する受講条件	年齢受講年度の4月1日現在、20歳以上 その他の条件 なし				
区分	カリキュラム内容		時間数		
			集合	通信	計
種目の特性に応じた基礎理論	1	水泳の特性・歴史（水泳の意義・水泳の特性、水泳の歴史）	1h	2h	3h
	2	水泳技術の構造（水泳の技術）	2h	0h	2h
	3	水泳指導法の基本（対象に応じた指導内容と技術指導）	2h	1h	3h
	4	水泳の管理と安全対策（水泳事故、水泳と保健）	1h	3h	4h
	5	競泳競技の規則と審判法（競泳）	1h	0h	1h
	計		7h	6h	13h
実技	1	基礎及び実践技術	14h	0h	14h
	2	日本泳法（横泳ぎ）	3h	0h	3h
	3	個人及び集団の指導実習	4h	2h	6h
	4	現場における心肺蘇生法	4h	0h	4h
		計		25h	2h
			32h	8h	40h

## 公認水泳上級指導員

団体として付加する受講条件	年齢受講年度の4月1日現在、25歳以上 その他の条件「水泳指導員」資格取得後2年以上の経験を有すること				
区分	カリキュラム内容		時間数		
			集合	通信	計
種目の特性に応じた基礎理論	1	水泳における生理学・心理学（心理学的要因、生理学的要因）	2h	2h	4h
	2	水泳指導法の応用（中・上級者指導法ほか）	3h	0h	3h
	3	水泳の体カトレーニング法（トレーニング理論 トレーニング法）	2h	2h	4h
	4	水泳競技と審判法（水球、飛込み、シンクロ、オープン、日本泳法）	2h	0h	2h
		計		9h	4h
実技	1	応用実践技術（スタート、ターン、立泳ぎ）	4h	0h	4h
	2	模範となる技術（フォームの手直し）	3h	0h	3h
	3	対象別指導実習（幼、小、中高、一般、高齢者）	2h	2h	4h
	4	救助法（順下、接近、運搬、心肺蘇生法準備）	2h	0h	2h
		計		11h	2h
			20h	6h	26h